



今、4年生～6年生までの体育は、ベースボール型ゲームを行っています。11月10日(金)には、6年2組で「ソフトボール」の研究授業が予定されています。そこで今回は、ベースボール型のゲームの面白さと難しさをまとめました。「子ども達にその運動が持つ面白さを味わわせること」、「その運動が持つ難しさを低減させること」が授業づくりの大事な視点だと考えています。

## ☑ ベースボール型ゲームの面白さ

- ・ 打者(走者)が早いか守備側の協働的な捕球や送球が早いかを競い合うこと
- ・ 守備がないところへねらって打ったり、守備の頭上を越える打球を飛ばしたりすること
- ・ 連携した守備で打者(走者)を少しでも前の塁でアウトにすること

## ☑ ベースボール型ゲームの難しさ

- ・ 主に守備側のゲーム中の意思決定(判断)の難しさ  
→ 打球状況や進塁(走者)状況によって守り方を判断しなければいけない
- ・ ルールの複雑さ